

衆議院議員

兵庫県第六選挙区
(伊丹市・宝塚市・川西市)

大串まさき

<http://www.m-ogushi.com/>

国政報告



- ✔ 新型コロナワクチン接種について
- ✔ 骨太の方針に見る来年度の展望
- ✔ これから議論すべき重要な課題

ガザロック VOL. 26

大串まさき プロフィール

自由民主党 副幹事長
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒(74回)。東北大学工学部卒(資源工学科)、同大学院修了(工学修士)。博士(知識科学)。
- ▶ IHI(工業炉設計部)、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在3期目。
- ▶ 厚生労働・文部科学・経済産業など幅広い政策分野で活躍中。
- ▶ 専門：医療・福祉、教育政策など
- ▶ 家族：妻と二人暮らし(猫一匹)
- ▶ 趣味：釣り、絵画、多肉植物
- ▶ スポーツ：高校まで剣道一筋
- ▶ 好きな食べ物：カレー
- ▶ 座右の銘：威ありて猛からず

お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



自由民主党 兵庫県第六選挙区支部
ニューズレター

第26号(令和3年8月1日号)

頒布責任者：浅井勝弘
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12

印刷者：株式会社プリントパック
京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

ワクチンの供給



当初の予定通り、6月までにファイザー社のワクチン1億回分とモデルナ社のワクチン1,400万回分が輸入されています。7月から9月までの第3四半期にはファイザー社のワクチン7,000万回分とモデルナ社のワクチン3,600万回分が輸入されます。9月までの両社のワクチンを合計すると2億2千万回分となり、希望する国民全てにワクチン接種をするのに十分な量となります。それに加えて、10月以降もファイザー社のワクチン2,000万回分が入ってきます。

▶ ワクチンの効果と接種状況について

7月末現在、首都圏を中心に新規感染者が増加傾向にあり、ご心配をお掛けしております。しかし、その多くは65歳未満のワクチン未接種の方となっています。65歳以上の感染者を見る限り、ワクチンを2回接種した方の感染は未接種の方と比べて10分の1以下となっています。これに伴い、重症者や死亡者の増加も抑えられていますので、データからもワクチン接種の有効性が、はっきりと示されていることとなります。なお7月末時点で、全体の接種回数は8,400万回を超えています。接種率は1回目で38%、2回目で27%となっています。



骨太の方針に見る来年度の展望

来年度の予算の方向性を決める「経済財政運営と改革の基本方針 2021」いわゆる「骨太の方針」がまとまりました。いよいよ来年度の動きが見えてきたところです。副題に「日本の未来を拓く4つの原動力」とあるように、ポストコロナの経済社会を立て直す重要な方針となっています。内外の変化を捉え、構造改革を戦略的に進めて、ポストコロナの持続的な成長基盤をつくります。

日本を取り巻く環境変化

世界経済の変化

○グリーン社会やデジタル化など、経済構造や競争環境に大きな影響を与える変化がダイナミックに発生

国内の未来に向けた変化

○柔軟な働き方、環境問題への意識の高まりなど、これまで進められなかった課題を一気に進めるチャンス

成長を生み出す4つの原動力の推進

グリーン社会の実現

○グリーン成長戦略による民間投資・イノベーションの喚起 ○脱炭素化に向けたエネルギー・資源政策 ○成長に資するカーボンプライシングの活用

官民挙げたデジタル化の加速

○デジタル・ガバメントの確立 ○民間部門におけるDXの加速 ○デジタル人材の育成、デジタルデバイドの解消、サイバーセキュリティ対策

活力ある地方創り

○地方への新たな人の流れ、多核連携、分散型国づくり ○活力ある中堅・中小企業・小規模事業者、賃上げ ○観光・インバウンド、農林水産業、スポーツ・文化芸術

少子化の克服

○結婚・出産の希望を叶え子育てしやすい社会の実現 ○未来を担う子供の安心の確保のための環境づくり・児童虐待対策

これらの4つの原動力を支える基盤づくりとともに、具体的な施策が盛り込まれています。その前提として、感染症の克服と経済の好循環を生み出すことが必須です。そして、これらの原動力の推進によって「経済と財政の一体改革」を実践します。

齋藤元彦 新兵庫県知事が誕生！

多くの皆さまのご支援を賜り、先の兵庫県知事選挙におきましては、自民党が推薦しました「さいとう元彦」候補が、圧倒的な支持を得て当選を果たすことができました。43歳の若き知事による新しい兵庫県政に期待しています。知事と地元県議や地元市議との連携を取りながら、山積する課題に挑戦して参ります。



これから議論すべき重要な課題

新型コロナウイルス対策が最重要課題であることは確かではありますが、感染症の克服後、あるいは、感染症との闘いの中でも議論すべき重要な課題が多々あります。

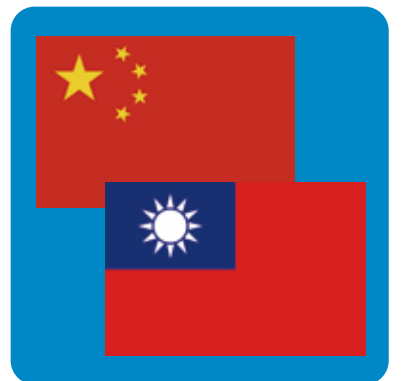
▶ 戦略物資の確保

ポストコロナを見据えて民生用半導体需要が拡大。特に自動車産業は自然災害や火災なども相まって深刻な半導体不足から、減産を余儀なくされています。このように一部の材料が国際的に調達できなくなることで、産業の大きな部分がストップしてしまう場面が増えています。戦略物資の調達を内製化を含めて多様化するなどサプライチェーンの強靱化が必須です。



▶ 台湾有事に備えて

中国は「台湾は中国の一部」という立場から、台湾周辺での軍事活動を活発化させています。台湾の危機は、即、日本の危機でもありますので、南西諸島の防衛力の強化は重要なテーマです。また、台湾は日本にとって重要なパートナーでもあり、経済連携などを通じて関係をさらに強化する必要があります。今後の米中関係を注視しつつG7等と連携した戦略的対応が不可欠です。



▶ 憲法改正に向けて

コロナ禍の教訓を生かして、改めて憲法を見直す議論が必要だと考えます。より効果的な感染症対策を打ち出せる、緊急事態下の法整備を進める必要もあります。先の国会で国民投票法の改正も終わりましたが、党内や国会での議論をさらに加速して、憲法の中身についての国民的な議論を行うべきです。米中関係を中心に、国際秩序が変わりつつある今、スピードをあげて取り組みます。



編集後記

ワクチン接種を終えた皆さんが安心されているのを見ると、私もほっとします。限られた手段しか無い中での政府の対応にご批判もありますが、ご理解を頂ける方も結構多く、丁寧にお伝えすることの大切さを再認識しています。

衆議院の選挙も近づきつつある中で、限られた時間内で何をどこまでお伝えできるか。見渡せばコロナ対策だけでなく、より深刻な課題も山積みです。重大な事ほど、何も無いことが成果でもあったりします。これからも出来ることを精一杯頑張りたいと思います。